

## ふるさと奈良への便り

### 「奈良？知っているが、行ったことはない」



株式会社はとバス  
専務取締役  
経営本部長

よねだ 信悟さん

東京都在住  
御所市出身

誕生から高校まで総戸数20数軒の小さな村で育ち、実家も鍵のかかっていた記憶がなく、村中、親戚の様な環境で育ちました。大学入学と同時に故郷、御所市を離れ、東京での生活が45年経過しました。東京の会社に就職、家族もでき、帰省するのが、年に1~2回です。リタイアした後はやはり故郷に帰り、楽しく暮らしたいと考えています。

所属する、「株式会社はとバス」は黄色いバスの都内観光で知られ、東京の代名詞となっています。当社の営業拠点である東京は様々な集客要素を持つ大都市ですが、奈良も観光地として大きなネームバリューを持っています。しかし、職員、会社関係の知人、友人に聞かけると、約80%が「知っているが、行ったことはない」と

の答で、これが関東地区での実態だと感じ、非常に残念に思っています。

2020年東京オリンピック開催も決定し、外国からの観光客はますます増えると思います。将来の日本の人口減少を考え、外国人観光客誘致に取り組み、外国人向けコースの造成を行っています。今後、「はとバス」も東京だけでなく奈良県観光局の皆様と連携し、関東在住のお客様や外国人観光客向けに奈良県の販売施策を考え、故郷を一人でも多く訪れていただくよう、取り組みたいと考えています。

## 人権コーナー

毎月11日は  
「人権を確かめあう日」

### 文化体験のすすめ

皆さんは、昨年に日本を訪れた外国人旅行者が、1千万人を超えたというニュースをご存じでしょうか？奈良県内でも、外国人旅行者を見かけない日は、ほとんどなかったように思います。再来日するリピーターも増えているそうですが、多くの旅行者は、日本語を知らない初めて日本を訪れる人々です。

先日、初めて奈良を訪れた外国人の話に、興味深い内容がありました。日本語はもちろん、日本文化をよく知らないで訪れたのですが、日本の特色ある文化を体験し、直接触れたことで、日本の視点から物事を理解しようとする考え方が生まれたとのこと。日本を理解はしていないが、日本の立場に立つという視点が生まれたということを伝えているようでした。

観光でのたとえ短い時間の文化体験でも、相手の文化に触れる

ことで、自然とその国の視点や発想が生まれることがあるとしたら、非常に意義深いものになると思います。

相手を理解するための第一歩は、まずは、相手の立場に立ってみるということなのでしょう。

〔今月の標語〕

◆ 変わろうよ なんにもしない 自分から

県立高田高 1年 吉田 京子さん

〔今月のポスター〕



5歳市立西吉野小 4年  
にしきぼ ちほ  
西窪 千穂さん



大和高田市立片塩中 2年  
みやにし なお  
宮西 菜緒さん

## テレビ&ラジオ



県政フラッシュ 毎日22:54~23:00  
県政の出来事を毎日ニュースでお届けします。

県民だより奈良「なら いいね!」  
3月8日(土) 21:00~21:30

奈良! そこが知りたい  
「めざせ健康寿命日本! 奈良県の戦略とは」  
3月15日(土) 21:00~21:30

せんとくん通信 「ゆうドキッ!」内の  
毎週水曜日 18:30頃~約10分間  
「奈良県インターネット放送局」で動画配信

県政ほっとライン  
FM/ハイホー(81.4MHz)  
毎週月・水・金10:15~、火・木16:45~、土11:45~

県政HOTインフォメーション  
ならどっとFM(78.4MHz)  
毎週月・水・金11:15~、18:45~

担当職員が  
県の事業を  
わかりやすく  
紹介!

県広報広聴課 ☎0742-27-8326

## クイズ&プレゼント



〇〇に当てはまる  
文字を教えてください

### 奈良県は消防の〇〇化で、 消防・救急体制を充実します。

ヒントは4ページ

ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取りあげてほしい話題・改善点)などを記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。ホームページ(www.pref.nara.jp/30222.htm)からも3/1以降、応募できます。

正解者の中から抽選で、  
ポロネーズ・コンフィチュール(9ページで紹介)を、  
子ども用と大人用を1セットとして  
5名様にプレゼント!

食育のきっかけにと、子どもと大人の味覚の違いに配慮して、子ども用は果肉からジャムを作り、大人用には八朔の皮を入れて苦みを味わえるようにしました。

(西川和利様 提供 ☎0745-64-2320)  
※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。



締め切りは、3月31日(消印有効)

1月号の答えは「安全・安心」でした。応募総数1274件。